

令和 4 年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

秋田県

行 事 名 称	三浦家住宅（第 6 9 回文化財防火デー防災訓練）
実施期間・日時	令和 5 年 1 月 2 6 日（木）午前 9 時 3 5 分～午前 1 0 時 3 0 分
実 施 場 所	秋田市金足黒川字黒川 1 7 8
主 催 者	一般社団法人三浦館保存会

■実施内容

訓練の想定

隣家で火災が発生し、強風のため引火する可能性があるという想定で、119番通報や避難経路確認等の訓練を行う。

訓練の内容

午前 9 時 4 2 分、隣家で発生した火災が延焼する可能性があるという想定で、119番通報訓練の実施後、屋内屋外を見回りしながら、消火設備の確認、火災発生時の対応の説明を行った。水消火器を使用し、初期消火訓練を行った。

参加者及び役割分担

三浦館保存会職員（2名）：119番通報、避難経路の説明、屋内屋外消火設備の説明、初期消火訓練
 土崎消防署飯島出張所職員（3名）：全体統括、屋内屋外消火設備の確認、初期消火訓練、講評
 秋田県文化財保護室職員（1名）：現場立会い
 秋田市文化振興課職員（2名）：現場立会い

特に工夫した点

初期消火を迅速に行うため、火元に近い消火器や迅速に対応できる放水銃の場所を確認しながら（放水銃は一カ所の操作で他の箇所の起動もできるため）、初期消火、通報、誘導や避難経路の確認などの訓練を実施した。

問題点・課題

（消防署からのお願い）

- ・消火器を使う際、消化剤が吹き出される時間に限りがあるため、なるべく火元に近づいて使用すること。

その他

講評（土崎消防署飯島出張所長）

- ・消火設備など非常によく管理されていた。文化財の火災原因としてよくあるのが、電気設備によるもの。老朽化だけではなく、動物の食害等でも起こりえる。定期的な頻度（できれば月 1 回程）で点検を行ってほしい。今後も、貴重な文化財を、防災に努め大切に守っていただきたい。

来年の訓練（三浦館保存会職員）

- ・来年はちょうど消火器の更新年なので、来年は実際の消火器を使用し訓練を行いたい。

訓練風景



消火設備の点検



放水銃の点検



水消火器による訓練